

県女第一期生より、皆実高校生に至る

119年の歴史に連なる者、

また今後、この同じ流れに連なる者、

手をつなぎ足音高く歩もう。

足音高く声を揃えて元気に歩もう。

我等は、皆実有朋会会員（38,025人）である。

歩もう、歩もう力強く！



No. 83 2020 (令和2) .12.5

# コロナを乗り越え、来年笑顔で再会を！

コロナへの対応  
皆実有朋会会長

森田 健司 (皆実16期)



この1年、寝ても覚めてもコロナ、コロナで過ごしてきました。コロナのため、社会・経済活動、文化・芸術活動、スポーツ活動のほとんどが縮小、停止しました。同窓会活動も同様で、皆実有朋会定期総会の議案は正副会長会議

の後、書面議決を行い、過半数の賛成を得、皆実有朋会則（第20条）に則り、幹事会として可決されました。こういう困難な状況の中でも、定期総会実行委員の方は

当番期の恩師、同期生の思いの込められた『第67回皆実有朋会定期総会』冊子を作成され、皆実有朋会会員の皆様からは広告掲載やご寄付などご協力をいただきました。なお、東京皆実有朋会の集い（総会）、近畿皆実有朋会の集い（総会）も中止となりました。創設以来、一度も途切れることのなかった同窓会総会がこのようになってきたことは残念でたまりません。

また、広島第一県女原爆犠牲者追悼式は、式典は中止とし、献花台とテントを設け、参拝者の方に献花をしていただきました。しかし、皆実有朋会会員も、コロナに対して必死の思いで対処されています。多くの新聞記事などから多その一端が伺えます。今後、日本も総力を挙げて、検査・医療体制を充実し、コロナを克服した東京オリンピック開催を、世界に示すことができるよう願っています。

皆実有朋会としても、来年の創立120周年にあたる定期総会が是非開催できることを祈念しております。



4月21日 正副会長会議で総会議案について審議 (同窓会館 1F 食堂ホールにて)

今後の東京皆実有朋会の集いについて  
東京皆実有朋会  
会長 岡村 有人 (皆実16期)



今年の年から顕在化してきた新型コロナウイルス禍は瞬く間に世界を席巻、

東京オリンピック2020が延期になり、グローバル経済は脆くも分断されました。東京皆実有朋会もこの禍からは無縁を保てず、1993年9月18日第1回に始まる集いを今年第28回目にして始めて中止するに至りました。現在東京の有効会員数は

1600名、かつて2000名を超えていた集いの参加者数は、ここ数年1000名を割るまでに減少しました。会員の高齢化が進む一方で、若い世代の参加者が増えないことが主な要因です。一昨年から「新人歓迎会」を催すことで若い世代への働きかけを強化、今後も継続します。

一般論で若い世代の同窓会離れは、社会現象ともいえるでしょう。かつてSNSも無く、新幹線はじめ交通ネットワークも十分ではない時代の人恋しさが同窓会を後押ししましたが、コロナ禍で気が置けない友人達と自由に会うことができず、同窓会の意義が改めて問われる時かもしれません。「行つてよかった」と言っていただけの一味違う集いを企画したいと思えます。

今後の近畿皆実有朋会の集いについて  
近畿皆実有朋会  
会長 渡部 雅博 (皆実17期)



本年5月の近畿皆実有朋会定期総会（集い）は、新型コロナウイルス蔓延の影響により開催を中止いたしました。一旦は3月上旬に役員・幹事全員で集い開催案内状の発送準備をしましたが、コロナウイルス感染拡大により再検討の結果、秋に延期とし状況を注視しましたが、感染拡大は収まらず最終的に集いの中

止としました。先日、役員・幹事全員に来年度の集い開催について意見を聞いたところ、集い参加者は高齢者が多く、例年通りの5月開催（3月案内状発送）は難しく、秋以降に延期してはとの意見で一致しました。また現状では何月何日と決めず、コロナウイルスの収束状況を見極め正式な開催日を決めようということになりました。

新型コロナウイルスが収束し、同窓生が多勢出席いただき楽しい集いになることを願っています。集い開催の有無等の詳細は、開設しております近畿皆実有朋会のホームページに随時掲載しますのでご確認ください。